

巡検企画

モンゴル仏教から見た日本の仏教—天台宗を中心として

本企画は、モンゴル仏教の視点から、日本の仏教史の中でも重要な役割を演じてきた近江国（現・滋賀県）の仏教寺院を巡検することで、その相違点を考察していくことを目的としている。滋賀県は、浄土真宗が強いことで知られているが、その一方で比叡山延暦寺をはじめ、天台宗の伝統も強い。天台宗は大乗仏教の一宗派であり、804年～805年にかけて唐に渡った最澄が日本に持ち込んだものである。さらに戦前には、同宗は内モンゴルとの交流があったと言われている。そこで本巡検では、天台宗の寺院であり、湖東三山の一つでもある西明寺および総本山である比叡山延暦寺を巡検する。

また、多賀大社は、元寇に由来する伝承などがあることから、巡検のルートにも加えた。なお、本巡検は、基盤研究 A「モンゴル仏教のグローバル実践に関する学際・国際的地域研究」の主催によるものである。

日程	2017年11月19日（日）（学会の翌日）
出発	滋賀県立大学 バス停/ JR彦根駅東口 バス停
出発時間	8:45
解散時間	大津駅解散 17:00 彦根
行程	滋賀県立大学出発（8:45） → JR彦根駅東口（9:00） → → 多賀大社（9:20） → 西明寺（10:30） → → 昼食「一休庵」（11:30頃～） → 比叡山延暦寺 → JR大津駅（17:00） → 滋賀県立大学着（18:00） → JR彦根駅/コンフォートホテル着（18:15）

参加者（乗車）数 50名予定

参加料：無料。ただし、19日当日の昼食代および18日夜のホテル代は実費。

参加申し込み方法：メールにて受け付けます。

18日～19日のホテルの予約もこちらでさせていただきます。

申込締め切り：9月28日

宿泊先：コンフォートホテル彦根（JR彦根駅東口すぐ）

滋賀県彦根市古沢町155

<http://travel.rakuten.co.jp/HOTEL/78161/78161.html>

申込先：滋賀県立大学人間文化学部 島村研究室

担当：福原美智子 fukumici@gmail.com